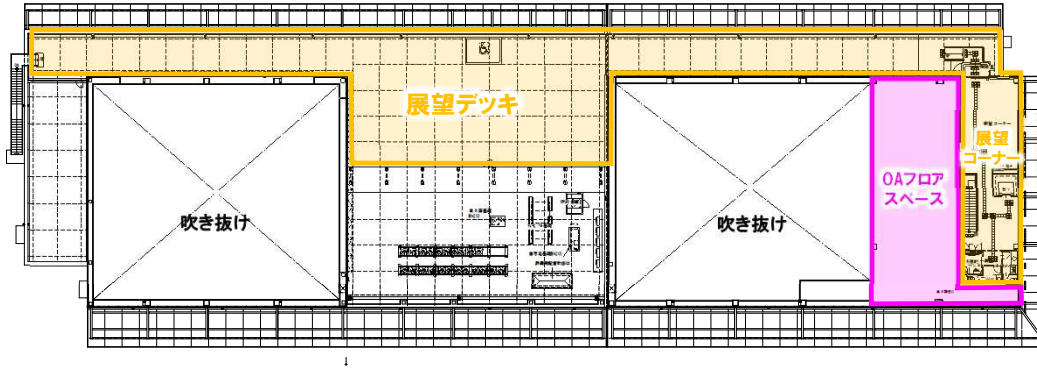


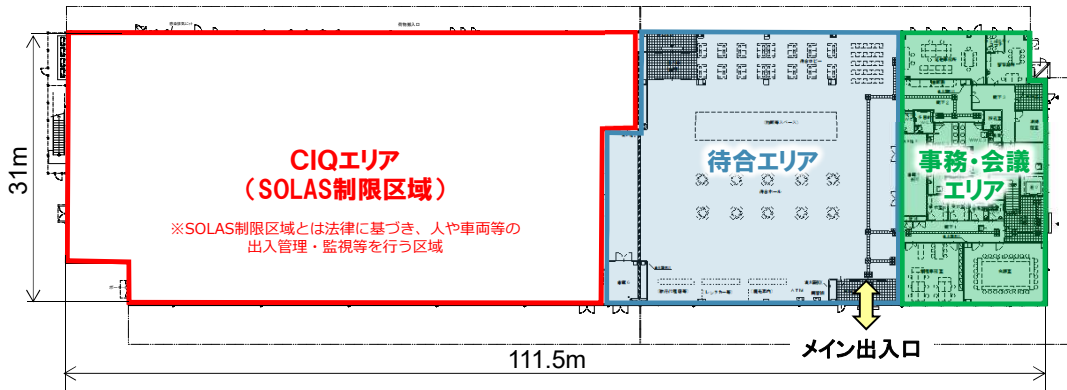
▶ 境夢みなとターミナル（旅客上屋）基本コンセプトと概略図

- 【機能性】**
 - ・海の玄関口にふさわしいバリアフリーでシンプルな導線
 - ・近隣施設や交通機関とのスムーズな接続
- 【柔軟性】**
 - ・旅客数に応じた可動式のC I Qエリア
 - ・イベント・展示等 多目的利用が可能な待合ホール
- 【境港らしさ】**
 - ・大山、美保湾が眺望できる展望デッキ
 - ・地元産品を使った内装、展示

■ 屋上（一部2階）



■ 1階



■ 立面図（海側）



お問い合わせ先

境港管理組合 港湾管理委員会事務局

鳥取県境港市大正町2 15 みなとさかい交流館3F 電話：0859-42-3705

境港外港竹内南地区 貨客船ターミナル整備事業

境港における新たな物流・交流拠点の創造をめざして



TAKENOUCHI MINAMI TERMINAL PROJECT



境港管理組合
-SAKAI PORT AUTHORITY-

作成日：令和元年11月

境港外港竹内南地区 貨客船ターミナル整備事業の概要

▶ 事業の概要

- ▶ 境港は鳥取・島根両県にまたがる港として、両県の経済発展に大きな役割を担っており、近年では国際フェリーの就航や大型クルーズ船の寄港増加などを背景として、国内外からの人・モノの流れが活発化しています。
- ▶ こうした中、境港では、物流効率化や施設の老朽化への対応、船舶航行安全の確保を目指した港全体の機能再編を進めており、外港竹内南地区において、内貨RORO船、国際フェリー、クルーズ客船等の機能集約化に対応した国際多目的ターミナルの整備（境港ふ頭再編改良事業）を進めています。
- ▶ この事業は、岸壁（水深10m、延長280m）、泊地（水深10m）、ふ頭用地（貨物ヤード等用地）、旅客上屋（国際フェリー・クルーズ客船対応）を整備するものです。



国際旅客ターミナル（仮設）（昭北地区）



大型クルーズ船への対応（昭南地区）

▶ 境港の課題と事業の必要性

■ ドライバー不足による海上輸送への移行

物流網に広範囲の影響を与える自然災害、急速に進むドライバー不足への対応が急務となっています。このため、官民の関係団体が連携して、国内RORO船航路の開設に向けた試験輸送等の取組みを展開しており、航路開設に向けたターミナル等の施設整備が必要となっています。



国内RORO船の試験輸送

■ 港湾施設の老朽化、船舶航行の安全確保（境水道周辺）

境水道沿いの岸壁は、整備後30年以上経過した岸壁の割合が85%に達するなど、老朽化が進んでいます。また、境水道は航路幅が最少160mの狭隘な航路で、潮流も複雑であることから、船舶航行の安全確保が求められています。



狭隘な境水道

■ 災害時における貨物輸送及び離島航路の確保

境港の背後地域には様々な企業が集積している他、隠岐諸島への航路も発着しており、非常災害時においても、輸送機能を維持する必要があります。

■ 国際フェリー（環日本海定期貨客船）への対応

現在、国際フェリー向けに使用している旅客ターミナルは、外港昭北地区の貨物岸壁背後に設置した仮設施設であり、旅客の利便性や安全性の面で問題があります。



屋外での入国審査待ち



貨物と旅客の輻輳

■ クルーズ客船への対応

境港では、クルーズ船が寄港する際には、外港昭北地区、外港昭南地区、中野地区などの貨物岸壁への係留によって対応しています。このため、貨物岸壁を使用する貨物船の沖待ち、埠頭用地内の蔵置貨物の横持ちが発生し、岸壁利用者や荷役業者の負担となっています。また、原木や木材チップの取扱岸壁であることから、クルーズ客船の受入れ環境として、景観や異臭、粉塵等の問題があります。

▶ 事業位置等

- ▶ 旅客上屋建設・ふ頭用地整備を境港管理組合、岸壁・泊地浚渫を国直轄事業で実施。



● 境港管理組合実施分
旅客上屋 約3,300m²、ふ頭用地整備 約8.3ha

● 国直轄事業実施分
岸壁（水深10m）L=280m、泊地（水深10m）浚渫

SANKO夢みなとタワー
観光案内・江原道アンテナショップ
取扱展示・イベントホール

境港さかなセンター

温泉施設

人流

人流

物流



国際フェリー（国際定期貨客船）



貨物船（RORO船）



大型クルーズ船

▶ 境夢みなとターミナル（旅客上屋）の機能・規模

- ▶ 地元らしさや、ターミナル完成の機運醸造を目的に旅客上屋施設の名称募集を実施し、

「境夢みなとターミナル」に名称決定

- ▶ 旅客上屋の導入機能

- CIQエリア** 検疫、出入国、荷物受渡し、動植物検疫、税関の各手続きへの対応
- 待合エリア** 待合ホール、観光案内 等
- 事務・会議エリア** 発券事務所、管理事務室、警察詰所、会議室 等
- 展望エリア** 展望デッキ、展望コーナー
- OAフロア** OAフロアスペース（2室）

- ▶ 旅客上屋の規模

【施設規模】 面積合計：3,358 m²

CIQエリア	1,878 m ²
待合エリア	973 m ²
事務・会議エリア	400 m ²
交通（通路・階段等）・設備関係	107 m ²

▶ 整備効果

- 国内海上輸送の効率化による背後圏域の産業競争力強化
内航RORO船等の定期航路開設による国内海上輸送網の形成
- 外国人旅客の受入体制整備によるインバウンド効果の拡大
クルーズ客船や環日本海国際フェリーに対応したターミナル施設整備による観光消費活動の活性化
- 船舶航行の安全性向上と施設老朽化対策
狭隘な境水道沿いから竹内南地区等への機能再編を行うとともに老朽化施設のスクラップ&ビルドを促進
- 大規模災害時の離島航路の確保
耐震強化岸壁の整備による大規模災害時の離島航路の確保



待合エリア

階段・E V

展望デッキ